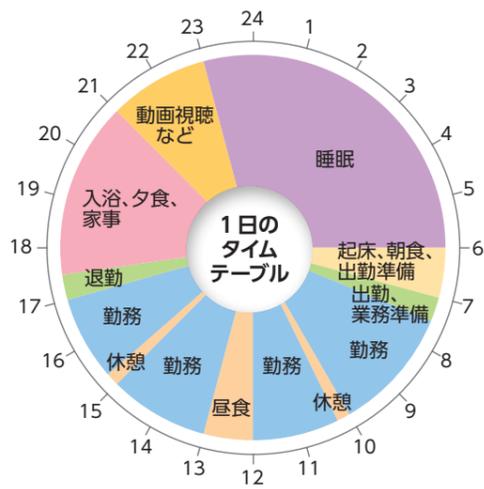


未来につなぐ森林づくりを目指す。



仕事の疲れを癒やしたいときによく行くのが、「日当山温泉花の湯」です。

ここのサウナは90℃前後と熱めな一方、水風呂の水温は低めに設定されていて、その温度差で「整う」感覚を得やすく、自分にはぴったりです。サウナに10分程度入った後、冷たい水風呂に入ってから外気浴をする。それを3回繰り返す、最後に温浴して締めるのが、私のサウナの楽しみ方です。静けさに包まれながらゆったり浸かれる露天風呂や足湯、ジャグジーなどもあり、いろいろなお風呂を楽しみたい人にもお薦めです。他にも、温かい石に寝そべり、遠赤外線体で芯から温めて新陳代謝を促進する岩盤浴もあり、肩凝りや腰痛の解消に効果的。風呂から上がった後は、瓶の牛乳を1本飲むのが私のお決まりのパターンです。



日当山温泉 花の湯

- 場所=単人町姫城2-38
 - 営業時間=午前9時～午後9時
 - 定休日=なし ● 駐車場=100台
- ☎=日当山温泉 花の湯 ☎(44)7234



OFF

ON

株式会社ヤマトク 森林維持管理部
松浦悠樹さん(21)
千葉県出身。令和6年入社。趣味はアニメ鑑賞。仲間とお酒を飲むのが好き。国分在住。

平成19年に創業し、溝辺町有川に本社を構える株式会社ヤマトク。同社は県内の国有林などの木を伐採して丸太に加工し、集積・運搬する「素材生産」という事業を中心に、除伐や間伐、造林下刈りといった林業を手がけています。

令和3年度には、国有林の間伐などでの優良事例を表彰する「国有林間伐・再造林推進コンクール」で、無線機を導入して社員が安全に作業に取り組める環境を整備したことが評価され、林野庁長官最優秀賞を受賞しました。「二人一人が離れて作業することが多い林業の現場。連絡が密にできるよ

うになったことで、安全面の向上だけでなく、作業の効率化にもつながりました。まだ若い会社ですが、社員一人一人が「森を守り、地域と共に成長する」という思いを胸に、日々仕事に向き合っています」と代表の中堂園芳寿さん(45)は話します。

チェーンソーや重機の運転などの資格取得にかかる経費は会社負担で、スキルアップに取り組みやすい同社。他にもユニークな福利厚生として、カツプ麺などの軽食類を社員価格で販売するなど、現場で働く社員に寄り添う取り組みを進めています。

同社で伐採などの作業員として働くのが、入社2年目の松浦悠樹さん(21)です。たまたま居酒屋で居合わせた同社の部長と共通の知人を介して知り合い、霧島市内での仕事を探していた松浦さんはすぐに入社を希望。「林業は未知の分野。チェーンソーを使うのも初めてで最初は怖かったのですが、先輩たちに優しく教えてもらいながら挑戦し、今では自信ができました。木を倒す方向などを計算しながら切り込みを入れ、うまく伐採できた時はやりがいを感じます」と話す松浦さんの声からは充実感が伝わってきます。「木の切り方や重機の運転など、先輩たちを見習いながらスキルアップしていきたいです」



ワーク・ワーク・ワーク

霧島市にはたくさんの企業があり、そこで多くの若者が生き生きと働いています。このコーナーでは、そんな企業や若者の暮らしを紹介します。第85回は、株式会社ヤマトクの松浦悠樹さん(21)です。就職を控える生徒や学生の皆さん、ぜひ霧島市で働き・暮らすという未来を描いてみませんか。

取材協力企業

株式会社ヤマトク
 溝辺町有川175-5 ☎(64)9511
<https://yamatoku-forest.com> 株式会社ヤマトク 検索

代表者: 中堂園 芳寿	従業員数(男/女): 8人(6人/2人)
創業: 平成19年6月	採用実績(新卒/中途): 2人(0人/2人、令和6年度)
資本金: 200万円	有給休暇の平均取得日数: 8.3日/年
初任給: 200,000円～	育児休業取得者数(男/女): 1人(0人/1人、令和6年度)
平均年齢: 36歳	勤務時間: 午前7時30分～午後5時(年間休日110日)
月平均残業時間: 20時間	

市ホームページで、このコーナーのバックナンバーをご覧ください。